

# 校長室だより

令和2年8月25日 No25

大田区立入新井第五小学校

校長 岡野 範 嗣

## 2学期が始まりました

いよいよ2学期が始まりました。夏休み明けということで、子どもたちも辛そうな表情で登校してくるのではないかと心配したのですが、全くそのような様子は見られず、みな元気に登校してくれたことを大変嬉しく思います。16日間の休み中に、コロナウイルスへの感染にかかわる報告もなく、私たちもほっとしているところです。また、昨日の欠席者も1桁で、欠席の理由もはっきりしているため、この2学期もおおむね良いスタートが切れたのではないかと感じているところです。ただ、連日の残暑と月曜日始まりであることが気がかりで、週の後半に疲れが出ないか気になるところです。加えて外遊びや外体育も熱中症防止の観点から実施できず、発散できないことによるストレスの蓄積も心配です。このように、今週は子どもたちも疲れをためやすい状況ですので、各ご家庭で、「早寝・早起き」を心掛けさせていただき、体力的にも精神的にも健康を保てるよう、ご協力を頂けると幸いです。



## 1年生の引き取り訓練 よい練習になりました



昨日は、コロナウイルス感染防止のため、昨年まで「児童 引き取り訓練」の経験のない1年生のみの訓練を実施させていただきました。保護者の皆様方には、大変暑い中をお迎えに来ていただき感謝申し上げます。実際、3・11の大地震の時などは、この児童引き取りが行われました。強い余震が続く中、子どもだけで帰すことや、家に一人で居させることが危険と判断したためです。私が副校長時代のことですが、交通機関もマヒし、都心の勤務先から歩いて迎えに来ていただいた親

御さんにお子さんを引き渡したのは、なんと午前0時でした。それでも、学校で子どもの安全が確保され、預かってもらえているという安心感はとても大きかったようで、何度も何度も頭を下げ感謝されたことを思い出します。訓練は、訓練と捉えてしまうと、ただの面倒になってしまいますが、実際に起こりうる危機であると考ええると、子どもも大人も疎かにはできないことだと感じています。



## ●●●● 2学期も一生懸命やるぞ！私の目標 ●●●●

始業式のときに、校長講和として「4・5月分の遅れを取り戻すつもりで、勉強をしっかりとやりましょう。」と話しました。併せて、子どもたち一人一人の努力が、2学期末の通知表に3段階の評定として、記されることも話しました。そのことにも刺激されたのか、たくさんの子どもが、2学期の勉強で頑張ることを細かく書いていたのが印象に残ります。2学期は数えてみると100日近くあり、途中、息切れすることがあるかもしれませんが、そこを何とか乗り越え、自分自身の自信に繋がる結果に結び付けてほしいと願っています。



## ●●●● 10月3日（土）の運動会に向けて ●●●●

今年度は、子どもへの感染防止策として、数多くの学校行事が中止もしくは規模を縮小しての実施となっています。年度当初は、運動会の実施も危ぶまれましたが、屋外での行われるため比較的感染リスクが低いことから、何とか10月の実施にこぎつけました。ただし、従来通りの形式での運営は難しく、3学年ずつ、「表現運動」と「短距離走」のみでの実施とさせていただくこととしました。（例年実施している団技・リレー・大玉は3密回避のため行うことができません）また、参観についても、高齢の方が万が一感染することになると、重篤化する可能性が高く、命にかかわることもあることから、今年度の参観はご遠慮いただく方向で考えております。ぜひ、ビデオ等をご用意いただき、祖父母の皆様には、ご家庭で映像を見ていただく形で参観頂けますようお願いください。また、練習に関しては、基本マスク着用、激しい運動を伴う際は「しゃべらない」を徹底させうえてマスクを外し、行わせるようにします。練習場所は、当分体育館で行い、適度な水分補給を行わせた上で行います。詳しくは、後日プリントにてお知らせをいたします。

